

## 輸送動向について(平成22年1月)

平成22年2月

### 1. 輸送概況

今月は、上旬に東北線において強風による輸送障害が発生したほか、中旬には新潟地区を中心に平年を上回る大雪となり、輸送障害が数日に亘って続くなど、自然災害の影響を大きく受けた。また、下旬には東海道線での保安装置故障等もあり、月全体では高速貨231本、専貨10本が運休した。

荷動きについては、個人消費の低迷が続いたほか、大雪による輸送障害の影響を強く受けたものの、製造業の生産活動の回復により、ゆるやかな増加を見せたことから、全体ではわずかに前年を上回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物などが前年を下回ったものの、自動車部品、化学工業品、化学薬品などが前年を上回ったため、全体では前年比102.0%となり、16ヶ月ぶりに前年を上回った。自動車部品、化学工業品、化学薬品は、昨年実施された減産体制の反動により大きく増送となった。一方、農産品・青果物は、政府米が大きく減送となった。また、積合せ貨物は貨物量の減少に伴い減送となった。

車扱貨物は、石油が前年を上回ったものの、セメント・石灰石及びその他の品目が前年を下回り、全体では前年比98.9%となった。石油は、昨年消費が減少した反動でわずかに前年を上回った。一方、その他の品目となる紙・パルプは、輸送障害の影響で減送となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,534	1,504	102.0%	16,780	18,944	88.6%
車扱	1,048	1,060	98.9%	8,676	9,044	95.9%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	147	179	-32	82.1%
	化学工業品	148	135	13	109.6%
	化学薬品	127	103	24	123.3%
	食料工業品	200	209	-9	95.7%
	紙・パルプ	243	246	-3	98.8%
	他工業品	124	114	10	108.8%
	積合せ貨物	159	168	-9	94.6%
	自動車部品	65	46	19	141.3%
	家電・情報機器	32	28	4	114.3%
	エコ関連物資	31	31	0	100.0%
	その他	258	245	13	105.3%
	コンテナ計	1,534	1,504	30	102.0%
車扱	石油	774	772	2	100.3%
	セメント・石灰石	92	93	-1	99.0%
	車両	105	102	3	102.0%
	その他	78	93	-15	84.0%
	車扱計	1,048	1,060	-12	98.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)